いみず 市議会だより

Imizu City Congress News

No.76

令和６年11月１日発行

●発行／射水市議会　●編集／広報委員会
〒939-0294 富山県射水市新開発410番地１
TEL(0766)51-6610　FAX(0766)51-6645
E-mail gikai@city.imizu.lg.jp

▲内川竹あかり

市議会のうごき

8月

19日　議会改革特別委員会専門部会
22日　議会報告会(広報委員会)
23日　議会運営委員会、全員協議会、議会改革特別委員会専門部会
29日　議会改革特別委員会

9月

【定例会】
30日　議会運営委員会、本会議、総務文教常任委員会、全員協議会
5日　議会運営委員会、本会議(代表質問)、全員協議会、議会運営委員会、広報委員会
6日　本会議(一般質問)、議会改革特別委員会専門部会
9日　予算特別委員会
10日　総務文教常任委員会
11日　民生病院常任委員会
12日　産業建設常任委員会
13日　議会改革特別委員会
18日　産業建設常任委員会、予算特別委員会、議会改革特別委員会専門部会
19日　予算特別委員会、議会運営委員会
20日　本会議、議会運営委員会、議会改革特別委員会専門部会

10月

26日～27日　港湾振興特別委員会行政視察
16日　決算特別委員会(一般会計)
17日　決算特別委員会(特別会計)、広報委員会
18日　決算特別委員会(病院・水道・下水道事業会計)
22日　決算特別委員会(全会計)
31日　議会運営委員会

代表質問

【自民射水の会】
杉浦　実 議員

1. 第３期創生総合戦略の策定方針について
2. 令和７年度予算編成について
3. 今後の士林区との交流の展望について
4. 稼げる観光の実現に向けた取組について
5. 文化財保存活用地域計画の策定及び文化財を活用したふるさと教育等について

問① 第３期創生総合戦略の策定方針について伺う。

答① 令和５年度にスタートした第３次総合計画との整合を図りながら、新たに生じた変化や課題に対応する施策も盛り込む。また、「たとえ定住人口が減少しても市民一人ひとりが幸せを感じることができる持続可能なまちづくり」という視点がこれまで以上に重要になると考えており、これらの観点にも着目しつつ、地方創生に有効な施策について検討する。

問② 令和７年度予算編成について伺う。

答② 現時点における予算編成の考え方については、地域課題や市民ニーズに的確に応えるべく、喫緊の課題に対しては予算特別枠を設定するなど、優先順位を付けて重点的に対応したい。

問③ 今後の士林区との交流の展望について伺う。

答③ 記念式典、台湾フェアともに、多くの市民の皆さんにお越しいただき盛大に執り行うことができ、会場内は台湾一色になり、改めて交流が広がる契機となった。今後も、更なる友好の絆を深めるとともに、幅広い分野での交流を進め、将来的な交流人口の拡大による賑わい創出につなげていく。

問④ 道の駅周辺エリアのリニューアル事業について伺う。

答④ 新湊博物館西側隣接地へのホテル誘致により、ホテル開業後は外国人旅行者の更なる増加が見込まれるため、ホテル事業者や道の駅新湊、新湊博物館及び観光まちづくり課からなる連絡組織の立ち上げを検討しており、外国人旅行者の国籍やニーズ等の情報を共有し、外国人旅行者に喜ばれるイベントを企画するなど、民間事業者と行政が一体となったおもてなし体制の構築につなげていく。

問⑤ 射水市文化財保存活用地域計画の策定及び文化財を活用したふるさと教育等について伺う。

答⑤ 保存活用方針や実施計画など市民と共有し、保存継承につなげていくため、策定に取り組まなければならないと考えている。しかし、文化財情報の集約や過去の取組等の検証などの課題もある。

子どもたちが、文化財への関心を高め、愛着を深めることや、伝統行事との関わりを通して地域との交流を深めることが、文化財の保存・継承、将来の射水市を担う人材の確保にもつながるものと考えており、積極的な文化財の活用に取り組んでいく。

放生津八幡宮祭の曳山・築山行事のユネスコ無形文化遺産※登録については、本年３月28日に、ユネスコ無形文化遺産「山・鉾・屋台行事」への拡張提案書が提出された。今後、審査が順調に進めば、令和７年11月頃に登録が決定する見込みである。

その他の質問

- 防災・減災及び国土強靭化の推進について
- （仮称）射水市こども計画の策定について
- 射水市のクルーズ振興への取組について
- 射水市雨水管理総合計画について
- 市民病院の経営改善に向けた取組について

※の用語については、最終ページに解説があります。

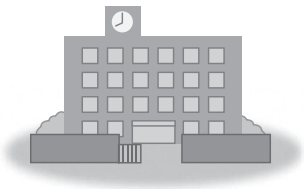
代表質問

【いみず志政会】
西元　勇司 議員

1. 令和７年度予算編成について
2. 公共施設の縮充と有効活用、公民連携について
3. 総合防災訓練の自衛隊との連携について
4. 公共調達による有機給食導入について

問① 予算編成に向けた市長の見解と災害復旧・復興の政策について伺う。

答① 第３次総合計画の将来像「いろどり　ひろがる ムズムズ射水」の実現に向け、主要施策の着実な推進を図ることとし、限られた財源の中にあっても、地域課題や市民ニーズに適切に対応するため、喫緊の課題に対しては優先順位を付けて重点的に対応したいと考えている。また、被災者や被災事業者の一日も早い復旧・復興と災害に強い安全・安心なまちづくりに優先的に取り組んでいきたい。



問② 廃校施設への地区センター移転とスーパー飲食物販店の誘致について伺う。

答② 地区センターについては、公共施設個別施設計画において、今後の利用状況等を踏まえ、適切な時期に在り方を検討することとしている。また、店舗等の誘致については、民間投資の可能性を探るとともに、地域の目指す将来像や本市の政策課題を総合的に勘案するなど、利活用検討の基本的な考え方に沿って検討していく。なお、文部科学省が取り組む「みんなの廃校プロジェクト」に係るホームページへの掲載については、今後、活用していく。

問③ 大規模災害対策の自衛隊ヘリや車両等による人命救助訓練について伺う。

答③ 自衛隊の災害派遣の活動内容は、被害状況の把握や避難の援助、水防・消防活動、道路等の啓開、人員や物資の緊急輸送及び入浴支援など被災地にとって重要な役割を担うものとなっている。今後、自衛隊と連携した訓練の再開や有効な訓練内容について自衛隊及び関係機関と協議を行い、より実効性のある訓練を実施していきたい。

問④ 学校給食の有機化と全国オーガニック給食協議会への加入について伺う。

答④ 学校給食の有機化は、子どもたちの健康面等に大変効果的な取組であることは認識しているが、安定的な供給や価格面など乗り越えなければならない課題も多い。今後も引き続き、安全・安心な給食を提供するとともに、地元の農産物の有機化や安定的な供給についての状況変化や県内他市の動向等を注視しながら、全国オーガニック給食協議会への加入や段階的な有機給食の導入に向け調査・研究していく。

その他の質問

- いじめや不登校対策、主権者教育について
- 公共交通の課題と利便性向上について
- 地域通貨アプリの導入について

代表質問

【自民議員会】
寺岡　伸清 議員

1 本市の人口について
2 本市財政健全化判断比率について
3 市民に対する防災意識の涵養について

問① 全国知事会の「人口減少問題打破により日本の地域の未来をひらく緊急宣言」に対する市長の認識と本市の定住人口増への市長の意気込みを伺う。

答① この宣言は、人口減少問題に国、地方及び国民全体で課題解決に取り組むことを示す重要な提言であると認識している。この間の地方創生※の取組では人口減少を反転するまでには至らず、日本全体での戦略的な取組が必要と考えている。定住人口の維持に向けては、まずは現に本市に住む市民が地元に愛着と誇りを持ち、元気で幸せを実感していただけることが重要であり、それが若者のUターンにもつながり、結果として定住人口の増加にもつながると考えている。そのためにも第３次総合計画に掲げる施策の着実な推進と、現在見直し中のまち・ひと・しごと創生総合戦略の内容のブラッシュアップを行いながら、総合計画の最終年度である令和14年の目標人口86,000人の実現を目指して取り組んでいく。

問② 本市の財政健全化判断比率についてその分析と受け止め方を伺う。

答② 令和５年度決算に基づく「実質公債費比率」、「将来負担比率」はいずれも健全に推移している。これは、財政見通しに基づく計画的な財政運営や公民連携による行財政改革等の取組によるものと分析している。今後は、これまで実施してきた大型事業に係る元金償還や公共施設の更新、実施計画に掲げる投資的経費による借入の増加が予想され、健全化判断比率は、上昇傾向になると見込んでいるが、今後とも健全財政の堅持に努める。

問③ 市民に対する防災意識の涵養についてこれまでどのように進めてきたか、また今後どのように取り組むかを伺う。

答③ 本市では、これまで市政出前講座をはじめ、広報いみずへの防災に関する特集の掲載や防災コラムの連載、防災講演会の開催等により災害に対する日頃からの備え等の周知に取り組んできた。また、今年度は、新たに防災士を地区防災計画作成のアドバイザーとして地域に派遣する制度を活用しながら、計画作成を通じた地域住民の防災意識向上に取り組む。

その他の質問

- ●外国人との共生について
- ●令和７年度予算編成について
- ●能登半島地震による農業被害について
- ●小杉駅周辺整備について
- ●芸術文化振興について
- ●放課後児童クラブについて

一般質問

1 道の駅新湊について

2 来年市制20周年について

加治　宏規 議員

問① リニューアル後の道の駅新湊において、姉妹都市や友好都市の特産品販売やＰＲブースを常設すべきと考えるが当局の見解を伺う。

答① 姉妹都市や友好都市のＰＲブースや特産品販売コーナーを設置することは、道の駅新湊で得られる情報や特産品に広がりを持たせ、道の駅としての魅力を高めるという点で有効な取組であると考えるが、まずは道の駅新湊の運営事業者と、こうした取組に対応できるのか、またどのような課題があるかなどについて協議したい。

問② 各種団体への補助（20周年特別枠）について伺う。

答② 市制20周年記念事業を検討する庁内ワーキングの協議の中で、公募提案型市民協働事業の20周年枠として、20周年を契機に将来にも好影響を残せる効果的な事業の募集も検討しており、今後の予算編成の中で検討する。

その他の質問

- ●内川未来戦略会議について
- ●公園の広場について
- ●保育園跡地について
- ●未利用地売却、公共施設等総合管理計画について

一般質問

1 介護福祉士奨学資金制度の対象拡大等について

石田　勝志 議員

問① 射水市の本制度では、高校に通い介護福祉士の取得を目指す生徒は対象外となっているが、高校生も含めるように拡大すれば、更に射水市内で働こうとする介護福祉士の裾野が広がると考える。また、保証人の要件のハードルが高いと感じるが、見解を伺う。

答① 高校生までを対象とした制度の拡大や、保証人の要件見直しの必要性などについて、他自治体の取組事例なども参考にしながら調査・研究を行い、より多くの若者が介護福祉士を目指すきっかけとなるよう制度の充実を図っていく。

その他の質問

- ●診療報酬改定による看護補助体制充実加算１の新設における射水市民病院での対応について
- ●外国人人材の活用の現状と課題について
- ●のるーと射水利用の明快化・容易化の方法について

一般質問

1 能登半島地震の課題等について

2 認知症の人に寄り添った地域社会の構築について

不後　　昇 議員

問① 本市の災害対応と今後の防災力強化について伺う。

答① 「令和６年能登半島対応検証委員会」を設置し、能登半島地震における災害対応や避難行動について、市民のアンケート調査、地域や職員のヒアリング・人流分析等をもとに課題・問題点を整理し、対策案の検討を行っている。この委員会での検証結果を踏まえ、今後の本市の地域防災力の強化につなげていきたい。

問② 認知症の人の行方不明者対策強化について見解を伺う。

答② 10月から「どこシルプラス事業」をスタートさせる。この事業では、認知症の人が行方不明となった場合、家族が市ＬＩＮＥ公式アカウントで行方不明者情報を広く発信でき、捜索の輪がより大きくなることが期待できる。こうした事業を通じて認知症の人や家族が安心して地域で生活を続けられる共生のまちづくりを推進していく。

その他の質問

- ●「地方における高付加価値なインバウンド観光地づくり」の選定について

一般質問

1 将来を担うグローバルな人材育成について

2 耐震化工事の進捗と応急仮設住宅の建設について

3 トイレトレーラー※等の導入による本市の災害対応力の強化と、災害ゴミの受入を含めた関連機関との連携について

高畑　吉成 議員

問① 小・中学生がグローバルな感覚を育てるための海外体験の機会への支援について考えを伺う。

答① 学校行事や授業のほか、イングリッシュ・キャンプ等の機会を通じ、海外への興味・関心を培う種を多くまくことで、世界で活躍できるグローバルな人材育成に努めたい。

問②ⅰ 本市の木造住宅の耐震化率について伺う。

答②ⅰ 「住宅・土地統計調査」に基づく直近の耐震化率は、76％である。

問②ⅱ 能登半島地震規模の災害時における本市の応急仮設住宅の必要見込数について伺う。

答②ⅱ 呉羽山断層帯による地震の被害想定において27,419棟が全壊すると見込んでいるが、被災状況によって大きく変動することから、応急仮設住宅の必要数を見込むことは難しい。

問③ トイレトレーラーについて、緊急防災・減災事業債等を活用し導入すべきと考えるが見解を伺う。

答③ 災害時のトイレ対策は、数の確保が不可欠であり、まずは、簡易トイレ等の計画的な備蓄に取り組み、導入については調査・研究していく。

一般質問

1 自衛隊への個人情報提供について

2 豪雨等による道路・家屋の冠水の改善について

根木　武良 議員

問① 県内の数か所の市町村で、自衛隊へ紙や電子媒体により氏名、住所、生年月日等の個人情報が提供されていると聞いたが、本市の対応を伺う。

答① 本市では、住民基本台帳法に基づき、住民基本台帳の写しの閲覧で対応している。

問② 豪雨が頻発するなか、二口自治会公民館付近の浸水対策について、効果と対策を伺う。

答② 二口排水区は、大門大島幹線整備後、床上・床下浸水被害は発生しておらず、整備前と比較すると浸水被害の軽減が図られている。今後は、未着手の排水区の整備を優先するとともに整備済みの排水区については効果検証を行い、雨水対策を推進していく。

その他の質問
- 災害時の停電について
- 歩道と縁石の除草について

一般質問

1 少子化対策と子育て支援について

2 高岡医療圏での周産期医療連携について

3 再生可能エネルギーについて

4 地域おこし協力隊について

大垣　友和 議員

問① 少子化の要因と今後の取組について伺う。

答① 核家族化、都市化、女性の社会進出などライフスタイルの多様化等による非婚化・晩婚化が進んだ影響によるものと考えており、（仮称）射水市こども計画策定の中で効果的な施策を検討していく。

問② 高岡医療圏での周産期医療連携について伺う。

答② 医療圏全体で周産期に対応できるよう体制整備が行われており、引き続き維持を求めていく。

問③ 本市の再生可能エネルギーの今後の可能性について伺う。

答③ 本市の地域特性から、太陽光発電の更なる導入促進を図ることが重要であり、太陽光発電設備のリユース、リサイクル等を通じて循環型社会の取組を推進するとともに、脱炭素社会※の実現を目指していく。

問④ 多種多様な地域おこし協力隊について伺う。

答④ 幅広い分野で活躍してもらえるよう、先行事例を庁内で共有していく。また、活動終了後に本市に定着していただくため、隊員が地域の方々と良好な関係を築くことができるようサポートしていく。

一般質問

1 農業における地域計画について
2 有機農業について
3 いのちのバトン※について
4 障がい者スポーツについて

金　賢志 議員

問① 農業における地図情報システムの活用について伺う。

答① 射水市農業再生協議会において地図情報システムを導入し、年内にはほ場データと電子データの紐づけを完了する。次期作付計画書や営農地図のデジタル化を図ることで生産者の負担軽減及び事務の効率化を目指す。

問② 「みどりの食料システム戦略」の目標達成に向けた取組について伺う。

答② 2050年までに耕地面積に占める有機農業の割合を25％とするなどの目標達成に向け、まずは化学農薬・化学肥料使用量低減の取組を県と連携し推進していく。

問③ いのちのバトンの周知啓発の必要性について見解を伺う。

答③ これまで救急搬送先の選定や医師への引継情報として有効に活用しており、今後も更なる周知に努めていく。

問④ 今後の取組について伺う。

答④ 第２次射水市スポーツ推進計画に基づき、年齢・性別・障がいの有無等に関係なく、気軽にスポーツに参加できる機会づくりに引き続き取り組んでいく。

一般質問

1 Ｕターン就職推進への支援について
2 子どものこころの外来について

西尾　哲 議員

問① Ｕターン就職者の現状と支援について伺う。

答① 令和６年３月大学等卒業者の県全体のＵターン就職率は、57.9％であり、約半数が県外に就職している。本市では、今年度いみずしあわせ奨学金を創設するなど、Ｕターンを促す制度を運用している。また、市内企業でのインターンシップや若い女性が希望する働き方支援等のほか、サテライトオフィス等開設支援制度の活用等を促すなど、多様な働き方を叶えるための施策を検討していく。

問② 診療件数及び課題について伺う。

答② 子どものこころの外来は、県が心の問題や発達障害がある子どもへの医療体制の拡充としてサテライト診療を開始することに伴い、令和４年５月から開設し、７月末現在で延べ受診者数は748人である。受診者数は増加傾向で、再診患者の増加とともに、初診枠の確保が困難となってきており、医療機関の確保について県に働きかけていく。

その他の質問

- 認知症の人にやさしいまちづくりについて
- 高齢者へのデジタルツールの普及推進について
- デジタル教科書の導入について

港湾振興特別委員会　行政視察

委員が２班に分かれて行政視察を行いました。

７月30日(火)～31日(水)

- 福井県おおい町(うみんぴあ大飯)
- 京都府舞鶴市(京都舞鶴港うみとびら)

９月26日(木)～27日(金)

- 新潟県聖籠町(㈱新潟国際貿易ターミナル)
- 新潟県上越市(直江津港ＬＮＧ基地)

総務文教常任委員会

議案5件を可決すべきものとしました。
所管事務について3件の報告を受けました。

射水市立学校設置条例の一部改正について（議案第78号）

令和7年3月31日をもって放生津小学校と新湊小学校を閉校し、新湊放生津小学校を同年4月1日から開校することに伴い、本市条例について所要の改正を行うもの。

問 **一旦選定した校名を変更したわけであるが、統合準備会の位置づけについて伺う。また、今後、小・中学校の新設統合では、既存校名を単独で使わないという方針か。**

答 統合準備会は、両校の新設統合について協議するために設置したものであり、協議項目については、準備会での協議を尊重し、最終的には教育委員会が判断するものである。

学校統合は、地域の意向を尊重しながら協議を行い、その地域に合ったやり方で進めていくべきものであり、校名についても同様である。

民生病院常任委員会

議案8件を可決すべきものとしました。
所管事務について7件の報告を受けました。

射水市病院事業の設置等に関する条例の一部改正について（議案第71号）

射水市民病院において、現在実施しているリハビリテーション部門の機能を強化するため、新たに診療科としてリハビリテーション科を設置することに伴い、本市条例について所要の改正を行うもの。

問 **新たに診療科としてリハビリテーション科を設置することになった背景を問う。**

答 本市においては、高齢化に伴いリハビリテーション医療の需要が増加していることから、更にリハビリテーション機能を強化していく必要がある。

当院は、既にリハビリテーション機能を備えているが、患者確保に向けた認知度の向上、診療報酬改定における新たな施設基準の取得など、病院機能向上のため、診療科として設置するに至った。

産業建設常任委員会

議案3件を可決すべきものとしました。
所管事務について5件の報告を受けました。

令和6年度射水市下水道事業会計補正予算（議案第2号）

令和6年能登半島地震被害による下水道復旧予定延長に関して、4月に補正予算を計上した2.7km分に3.4km分を追加し、補正するもの。収益的収入で698万3千円を増額し、収益的支出で7712万4千円を増額する。資本的収入では、9億3709万9千円を増額し、資本的支出で9億3715万円を増額する。

問 **カメラ調査の進捗状況とさらに被害が広がる可能性があるのか伺う。**

答 カメラ調査は8月末までに約22km（うち被災延長は12km）実施している。9月に入ってからも道路陥没等発生しており、今後も調査が必要である。現在把握している分の調査は9月末頃までに終了見込みである。すでに補正済の分と合わせ6.1km分を今年度は発注したいと考えている。

総務文教常任委員会

今年度、初の試みとして動画配信による議会報告会を実施しました。

テーマ

6月定例会で付託された議案及び報告事項について

動画はこちら

民生病院常任委員会

令和6年7月18日、新湊高等学校普通科2年生の皆さんを対象に議会報告会を行いました。また、社会問題や身近な問題について意見交換をしました。

▼主な意見

- コミュニティバスの本数を増やしてほしい。
- 「のるーと射水」を射水市全体で使えるようにしてほしい。また、終了時刻が早すぎる。
- ゼロカーボンシティであることをもっと宣伝するべき。
- 部活動の地域移行にあたっては、地域に体育館を増やして、チームを増やすのが良いと思う。また、各学校から体育館までの無料シャトルバスを出してほしい。

産業建設常任委員会

令和6年7月4日、いみず野農業協同組合及び新湊漁業協同組合の皆さんを対象に議会報告会を行いました。また、震災の影響と復旧等について意見交換をしました。

テーマ

- **富山県関連事業「寿司」を突破口にしたブランディングによる関係人口増加プロジェクト事業について**
- **射水市移住・空き家トータルサポート業務委託に係る公募型プロポーザル事業について**

▼主な意見

いみず野農業協同組合では、農業のDX化に係る支援への要望がありました。

新湊漁業協同組合では、令和6年能登半島地震に伴う漁業者及び水産業への財政支援についての要望がありました。

広報委員会

令和6年8月22日、小杉高等学校で議会報告会を行いました。新たに選挙権を有することとなる3年生を対象に、市議会の役割・活動や地域の課題等について説明した後、意見交換をしました。

▼主な意見

- 県内に学びたい大学の学科が少ない。
- 普段身近に感じない議員の仕事や役割について知ることができた。
- 18歳になって選挙権を持つことができたので政治に関心をもっていこうと思った。

９月定例会特別委員会

本会議で委員会に付託された
主な議案の審議内容や所管事務の報告事項に関する概要を紹介します。

予算特別委員会

令和６年度射水市一般会計補正予算（第３号）

（議案第60号）

歳入歳出にそれぞれ14億3949万２千円を追加し、総額を453億3349万２千円とするもの

主な事業

- ○光熱費高騰による指定管理者支援金
- ○いみず住まい等応援事業補助金
- ○海老江コミュニティセンター空調設備更新工事
- ○ＡＩ電話による所得税・住民税申告相談会予約受付業務
- ○地域密着型介護基盤整備事業費補助金
- ○能登半島地震に伴う農業用施設災害復旧工事、道路災害復旧調査・設計業務委託

質問者及び質問項目

９月９日（予算説明）

日　程	質問者	主な質問項目
９月18日	吉野　省三 委員	①小・中学校体育館への空調設備の設置について　②ふるさと射水応援基金積立金について　③いみず住まい等応援事業補助金について　④水道事業会計繰出金及び下水道事業会計繰出金について　⑤ため池耐震診断業務委託について　⑥道路災害復旧調査・設計業務委託について　⑦能登半島地震に係る予算について
	堀　義治 委員	①AIオンデマンドバス「のるーと射水」について　②職員の人材確保について　③道の駅新湊等の大規模改修工事計画について
	大垣　友和 委員	①射水市民病院の経営状況について　②小・中学校の除草作業における安全対策について　③小・中学校における著作物の利用について
	金　賢志 委員	①病院医事業務委託について　②海抜表示看板修繕について　③学校施設及びコミュニティセンターの空調設備について　④富山マラソンコースについて
	高橋　久和 委員	①財政調整基金について　②いみず住まい等応援事業補助金について　③総合戦略（東京圏への一極集中対策）に有効とすべき施策について　④和田川浸水対策基本方針策定支援業務等について
	西尾　哲 委員	①都市公園遊具の点検、修繕について　②第2次射水市環境基本計画について　③休日の学校部活動の地域移行モデル事業について
	不後　昇 委員	①危機管理担当部署における女性職員の配置について　②婚姻届の記入例の見直しについて　③市内保育園の医療的ケア児受入施設の現状と課題について　④帯状疱疹予防接種の助成について
	山本　満夫 委員	①災害弔慰金等支給審査委員会について　②インターネットで広がる偽情報対策等について　③移住、空き家、空き地について　④法定速度について　⑤飲酒について
	根木　武良 委員	①マイナンバーカード及びマイナ保険証の取得について　②米不足について　③国民健康保険税の減免について
	高畑　吉成 委員	①歌の森運動公園の園路の舗装について
９月19日	山崎　晋次 委員	①市民、当局、議会との信頼について　②女性の就農環境整備事業費補助金について　③能登半島地震により下水道が受けた損傷について　④学校で育てた食材を給食に利用することについて　⑤観光等の来訪者へのアンケート調査について　⑥新湊さんぽの運用について
	西元　勇司 委員	①賦課徴収費について　②電子図書館について　③オーガニック給食について　④職員の人件費について
	加治　宏規 委員	①射水市ふるさと特産品等開発費補助金について　②新湊漁港での水揚げについて　③ふるさと納税返礼品について　④内川を航行するモーターボートや水上バイクについて　⑤ネーミングライツについて
	石田　勝志 委員	①高齢者福祉施設費について　②県のこども医療費助成の拡充について　③サイバー攻撃に対する安全保障体制について

議会改革特別委員会

議員定数、報酬等について、これまでの検討内容を取りまとめ、９月24日に議長へ報告書を提出しました。

報告書の内容

【議員定数についての主な意見】

●討議性、専門性、市民性、多様性を考慮して、３つの常任委員会を各７人とし、１人減の21人を議員定数とすることが適当と考える。

●これまで議員定数を数回削減してきており、現行の議員定数が類似団体のほぼ平均であること、また、多様な人材が議員になることを推進する観点から、現行の議員定数のとおり22人とすることが適当と考える。

【議員報酬月額についての主な意見】

●合併協議会において、富山市、高岡市に次ぐ第３の市として50万円を想定していたが、定数特例を適用し、法定上限30人を超える35人としたことから、43万円とした経緯がある。議員報酬基準額については、本市のように局・部長制を施行している市にあっては、それらの給に相当する額を基準とする例や、人事院勧告なども勘案し、当面は、部長給を基準として現行の42万７千円から３万３千円引き上げた46万円とし、議員のなり手不足が課題となっている本市議会に多様で有為な人材の参加が得られるよう、可能な限り早い時期に50万円に戻すことが妥当と考える。

9月定例会

《会 期》8月30日～9月20日／22日間

議決結果一覧表

[議　案]

番号	件名	結果
第60号	令和６年度射水市一般会計補正予算(第３号)	可決
第61号	令和６年度射水市国民健康保険事業特別会計補正予算(第１号)	可決
第62号	令和６年度射水市後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第１号)	可決
第63号	令和６年度射水市介護保険事業特別会計補正予算(第１号)	可決
第64号	令和６年度射水市水道事業会計補正予算(第２号)	可決
第65号	令和６年度射水市下水道事業会計補正予算(第２号)	可決
第66号	令和６年度射水市病院事業会計補正予算(第１号)	可決
第67号	射水市市税条例の一部改正について	可決
第68号	射水市災害弔慰金の支給等に関する条例の一部改正について	可決
第69号	射水市国民健康保険条例の一部改正について	可決
第70号	射水市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部改正について	可決
第71号	射水市病院事業の設置等に関する条例の一部改正について	可決
第72号	字の区域の変更及び廃止について	可決
第73号	動産の取得について	可決
第74号	動産の取得について	可決
第75号	射水市フットボールセンター災害復旧工事請負契約について	可決
第76号	令和５年度射水市水道事業会計未処分利益剰余金の処分について	継続審査
第77号	令和５年度射水市下水道事業会計未処分利益剰余金の処分について	継続審査
第78号	射水市立学校設置条例の一部改正について	可決

[報　告]

番号	件名	結果
第12号	専決処分の報告について	—
第13号	令和５年度射水市健全化判断比率の報告について	—
第14号	令和５年度射水市資金不足比率の報告について	—

[認　定]

番号	件名	結果
第１号	令和５年度射水市一般会計歳入歳出決算認定について	継続審査
第２号	令和５年度射水市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定について	継続審査
第３号	令和５年度射水市後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算認定について	継続審査
第４号	令和５年度射水市介護保険事業特別会計歳入歳出決算認定について	継続審査
第５号	令和５年度射水市水道事業会計決算認定について	継続審査
第６号	令和５年度射水市下水道事業会計決算認定について	継続審査
第７号	令和５年度射水市病院事業会計決算認定について	継続審査

[諮　問]

番号	件名	結果
第４号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	異議なき旨答申

[議員提出議案]

番号	件名	結果
第４号	選択的夫婦別姓制度の議論の活性化を求める意見書	可決

[その他]

番号	件名	結果
	議会運営委員会、各常任委員会、決算特別委員会及び議会改革特別委員会の閉会中の継続審査	可決

《議員別賛否一覧／賛成と反対の双方があった議案について掲載》

番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	議決結果
議員名	石田勝志	大垣友和	西元勇司	西尾哲	金賢志	杉浦実	山本満夫	寺岡伸清	呉松福一	加治宏規	高畑吉成	根木武良	欠員	中川一夫	中村文隆	山崎晋次	不後昇	吉野省三	津田信人	堀義治	奈田安弘	高橋久和	
議案第69号 射水市国民健康保険条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×		○		○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第70号 射水市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	－	○	※	○	○	○	○	○	○	○	可決

○…賛成　×…反対　※…議長は採決に加わりません。

POINT 市議会だより用語解説

代表質問・一般質問における用語を解説しています。

無形文化遺産 ▶P2

芸能や伝統工芸技術などの形のない文化であって、土地の歴史や生活風習などと密接に関わっている貴重なもののこと。

地方創生 ▶P4

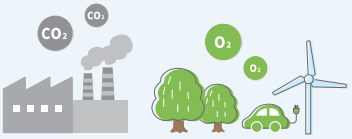
東京一極集中、都市と地方の経済格差に歯止めをかけ、地方活性化を目指す政策または取組

トイレトレーラー ▶P6

災害時の利用を想定して設計された移動設置型水洗トイレのこと。車でけん引が可能なため、遠方の被災地でも必要な場所まで移動及び設置が可能である。

脱炭素社会 ▶P6

地球温暖化・気候変動の要因となる温室効果ガスのうち、最も排出量の多い二酸化炭素について、実質的な排出量をゼロを達成している社会



いのちのバトン ▶P7

持病やかかりつけの病院、緊急時の連絡先などの情報を入れたケースを冷蔵庫に保管し、急病等で助けが必要となったとき救急隊員などにその情報をいち早く知らせ、救命活動に役立てるもの。

祝　友好提携５周年

７月28日（日）本市と台湾台北市士林区の友好提携５周年記念式典が高周波文化ホールで開催されました。記念式典では、これまでの交流のあゆみ紹介や、記念品の交換などのほか、式典後のアトラクションでは、本市と士林区の子どもたちによる吹奏楽演奏、獅子舞のパフォーマンスがありました。

●広報委員会［委員長］堀 義治　［副委員長］加治 宏規
［委　員］高畑 吉成、中村 文隆、山崎 晋次、吉野 省三、津田 信人、奈田 安弘、高橋 久和

12月定例会は、12月４日（水）から始まります

会期日程は、決まり次第ホームページに掲載します。

詳しくは、議事調査課（TEL 51-6610）までお問い合わせください。

傍聴者数

９月定例会
本会議 …54人
委員会 …24人
合計78人

皆さんの傍聴をお待ちしています。ご希望の方は、議会開催日に本庁舎５階議会事務局までお越しください。